

# 平成28年度 第8回気高地域振興会議議事概要

日 時 平成29年1月20日(金)午後1時30分から4時

場 所 気高町総合支所2階 会議室

## 〔出席委員〕

横田昭男会長、西尾雅彦委員、堀尾正委員、池原隆秋委員、下村益雄委員、  
田中敦志委員、松本弥生委員、荒尾純子委員、水津文恵委員、三澤秀正委員、  
米田克彦委員

## 〔欠席委員〕

池長綾子副会長

## 〔事務局〕

鈴木敏支所長、橋本浩之副支所長、木下敬一産業建設課長、村上郁恵市民福祉課長、  
中原登地域振興課課長補佐  
協働推進課 福島課長、有本主事 情報政策課 富山課長  
危機管理課 森山課長、雁長係長 観光戦略課 浅井次長、植田補佐

## 〔傍聴者〕

1名

## ◎会議次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 協議事項
  - (1)地域内情報伝達設備整備に対する支援の考え方について
  - (2)教育委員会分室の執務場所等の変更について
- 4 報告事項
  - (1)浜村温泉館の施設点検結果について
  - (2)気高道の駅(仮称)の整備について
  - (3)気高町総合支所の整備について
  - (4)鳥取市ふれあい収集について
- 5 その他
- 6 閉会

## ◎議事概要

### 1 開会

### 2 あいさつ

### 3 協議事項

#### (1) 地域内情報伝達設備整備に対する支援の考え方について

**【事務局】**地域内情報伝達設備整備に対する支援の考え方について、資料に基づき橋本副支所長が説明しました。

**【委員】**防災無線は、年間何回くらい放送する予定なのか。もっと有効活用することはできないものか。

**【事務局】**回数を定めて放送するものではありません。本来は、津波、地震などの緊急時の情報伝達の手段であり、デジタル化に伴い防災情報を伝達するという本来の使い方を考えています。また、区長、民生委員など地域の主要な方のお宅には、戸別受信機を設置することも考えています。

**【委員】**天候が荒れた日には、屋外スピーカーでは聞こえないと以前にもお伝えしたが、住民の皆さんへの確認はしたのか。

**【事務局】**屋外スピーカーで聞こえないという声があることも承知しており、防災無線以外にも複数の手段で情報を伝達することとしています。防災無線で流れた情報は、21-6100に電話をすると聞くことができます。この他、安心トリピーメール、市役所のウェブサイトへの掲載、ケーブルテレビの文字放送、ラジオのFM鳥取でもお伝えしています。まずは、防災無線をデジタル化し屋外スピーカーで迅速的確にお伝えしていきたいと考えています。

**【委員】**この屋外スピーカーの音の届く範囲はどれくらいなのか。

**【事務局】**高性能スピーカーの場合、半径500メートル程度の範囲です。スピーカーの種類は場所によって異なりますが、気高地域全域で聞こえるように屋外スピーカーを設置するように計画します。ただし、どうしても音声が届きにくい場所については、戸別受信機を設置する方法も考えています。

**【委員】**聞こえるのかの調査をする場合、平常時ではなく、天候が荒れた時にも聞こえるのか調査するよう考慮していただきたい。

#### (2) 教育委員会分室の執務場所等の変更について

**【事務局】**教育委員会分室の執務場所等の変更について、資料1に基づき橋本副支所長が説明しました。

【委員】今後、公民館業務について、業務の見直しとあるが、これには地区公民館も含まれるのか。

【事務局】他の支所では、中央公民館と地区公民館とは重複している業務もあることから、住み分けをしていきたいと考えています。

#### 4 報告事項

##### (1) 浜村温泉館の施設点検結果について

【事務局】浜村温泉館の施設点検結果について、資料2に基づき植田補佐が説明しました。

【委員】休館して数カ月経ち、温泉の配管はかなり腐食していると思う。今の説明の中で、施設を改修する場合、機械設備経費として7千2百万円と説明があったが、これは、すべて新品にした場合のことなのか。

【事務局】機械設備の改修では、すべて新品にするのではなく流用できるものは流用していきたいと考えています。積算の中には配管の改修費は入っていません。

【委員】市議会でも費用対効果がどうかと言われている。施設改修に係る費用、施設運営に係る費用などの数字は明確化することが必要で、再開するための費用がどれだけ必要なのか、どう有効活用するのが重要だと思う。

【事務局】今回の施設点検は、消防法、建築基準法に照らし合わせて適合しているのか調査したものです。約1年間使用していないので、配管は直す必要があると考えています。再開するには、しっかりと経営できる組織が大事だと思っています。地元も含めて検討していく委員会的な組織を立ち上げていきたいと考えています。

【委員】ぜひ地元と協議をしていただきたい。活用するアイデアはたくさんあるはず。事業計画を作るうえで、収支の中身がわからないと検証もできない。運営するには、配湯料が高いように感じている。

【事務局】施設の整備のあり方について、将来を見据えたバランスシート、経費負担など地元と検討していきたいと考えています。

【委員】建物の耐震上は問題ないのか。

【事務局】宿泊する旅館部分は、新耐震基準で建てられたもので問題はありません。ただ、屋外の避難階段が腐食しており消防法上、不適合と指摘されています。

【委員】市として、浜村温泉館をどう考えているのか。

【事務局】吉岡温泉では、市が整備し地元へ譲渡し運営をしていた施設がありました。この度、施設の老朽化により地元の団体が新たな施設を整備されることになりました。浜村温泉館も同様の

ことも考えられますが、今後のことについては、地元の方と検討をしていきたいと考えています。

## (2) 気高道の駅(仮称)の整備について

**【事務局】**気高道の駅(仮称)の整備について、当日配布資料に基づき岡田主幹が説明しました。

**【委員】**敷地面積が増えると説明があったが、その増やした考え方はどういうことか。

**【事務局】**整備推進委員会において道の駅全体の配置、駐車場の配置等の検討を進めるうえで、足りるしいと判断したことから、当初14,000平方メートルから19,000平方メートルに変更しました。

**【委員】**農産畜産加工施設の配置が予定されているが、近隣の直販施設との調整は行っているのか。

**【事務局】**建物は市が整備し、管理運営は指定管理者にお願いする予定です。この農産畜産加工施設についても、どのような形態で行うのか指定管理者の考えていただくものです。

**【委員】**トイレが施設の奥に配置されている。利便性を考えると前側が良いのではないか。

**【事務局】**道の駅の登録要件として、情報コーナーの前を通過してトイレに入る動線にする必要がありこのようなレイアウトにしています。

**【委員】**他の道の駅を見ると女性トイレの利用者が多いと思うが、この施設のトイレの個数の割合はどうなっているのか。

**【事務局】**トイレ内の個数は、交通量による基準に基づき算定しており、妥当な個数だと考えています。

**【委員】**道の駅の整備は、山陰道の完成には間に合うのか。

**【事務局】**青谷ICと浜村鹿野温泉(仮称)ICの間は平成29年度中、浜村鹿野温泉(仮称)ICから鳥取西ICの間は平成30年度中に全線開通の予定です。この道の駅は平成31年の春には完成の予定ですが、オープンはゴールデンウィークの前になる見込みです。

**【委員】**多機能用地には、今後いろいろなアイデアが出せれるように、電気、水道を配置しておくべきだと思う。

**【事務局】**配慮したいと思います。

## (3) 気高町総合支所の整備について

**【事務局】**気高町総合支所の整備について、資料3に基づき鈴木支所長が説明しました。

**【委員】**来年の秋には、これまで通り各課が同じ場所で業務ができるように戻るのか。

**【事務局】**来年の夏頃には、3課が同じ施設で業務できる体制になるように計画しています。

## (4) 鳥取市ふれあい収集について

**【事務局】**鳥取市ふれあい収集について、資料4に基づき村上課長が説明しました。

特に意見なし。

## 5 その他

### (1)リノベーションスクール@浜村温泉の開催について

**【事務局】**2月3日(金)から5日(日)の3日間、浜村温泉館での開催について説明しました。

特に意見なし。

### (2)わかめ株主募集について

**【事務局】**2月26日(日)、船磯漁港での開催について説明しました。

特に意見なし。

## その他

**【委員】**地域おこし協力隊の活動状況について、紹介する機会を持ってほしい。

**【事務局】**次回の会議で紹介したいと思います。

## 6 閉会

**【会長】**以上、会議は終了します。